

グラムやリットル単位での注文入力が可能に

『Airレジ』、量り売り機能の提供開始

食品系やアパレルなど小売店向け機能を無料で順次拡充し、より使いやすく

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、0円でカンタンに使えるPOSレジアプリ『Airレジ』は、小売店が必要とする機能・サービスの無料拡充を進めています。本日7月24日（月）、「量り売り」機能を新たにリリース致しました。本機能により、グラムやリットルなどの販売単位で、『Airレジ』に注文入力できるようになり、商品のレシートや領収書には販売した分量と販売単位が印字されるようになります。

『Airレジ』量り売り機能のイメージ

The screenshot shows the '注文入力' (Order Entry) screen in the AirREGI app. A numeric keypad is overlaid on the screen, with the value '321.0g' entered. A callout box points to the keypad with the text '「販売単位」で注文入力' (Order entry by sales unit). Below the keypad, a list of products is visible, including '国産 牛こま' (Domestic Beef Chomama) with a price of ¥322/100g. A receipt preview on the right shows the item '国産 牛こま' with a quantity of 1 point and a price of ¥1,033. The receipt also shows a total of ¥1,033 and a note about the 8% reduced rate tax.

グラムやリットルなどの単位で入力が可能

小数点以下の会計も可能

## 1. 取り組みの概要

『Airレジ』の基本仕様では、iPadやiPhoneなどのデバイス画面上に、各店舗や施設で設定したメニューが表示され、注文を受けた際にスタッフがメニューをタップすると、価格が会計に自動で反映されます。しかし、精肉店などの食品小売では、同じメニューでもグラムごとに価格が変動するため、一様に設定することができず会計に反映ができませんでした。新たに提供を開始する「量り売り」機能では、例えば1グラム10円と設定すると、135.5グラム購入の場合は1,355円といった、グラムやリットルなどの販売単位で注文入力が可能となります。また、レシートや領収書には販売した分量と販売単位が印字されます。

小売店でより便利に『Airレジ』を利用できる機能は、「量り売り」だけではありません。例えば、アパレルや雑貨店では「在庫管理・棚卸し」機能が重宝されています。在庫数を編集する際に、「入荷」や「返品」など商品の出入り詳細を記録したり、在庫の変動履歴を確認したりできます。他にも商品を画像で登録し、注文入力や在庫管理ができる「商品画像表示」や、バーコードを読み取るだけで、入荷した商品名と個数が自動で反映される「バーコード入荷」といった機能があります。今後も機能の改善や追加により、いろいろな店舗におけるレジ業務の効率化を推進していきたいと考えております。

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## サービス詳細

月額固定費：無料（本機能による追加費用は発生しない）

## 2. 取り組みの背景

小売店に限らず、POS レジなどのデジタルツールの導入は少しずつ進んでいますが、まだまだ余白を残している状態です。POS レジ導入の検討がしやすいと考えられる飲食店でさえ、その状況は明らかです。当社が2023年3月に実施した「飲食店経営者のDXに対する興味・関心と導入状況の実態調査」では、POS レジの導入状況を聞いたところ「既に導入している」と答えた飲食店経営者は22.3%（前年比+2.7%）<sup>\*1</sup>、「導入していないが、導入を検討している」と答えた飲食店経営者は12.1%（前年比+1.0%）<sup>\*2</sup>という結果でした。この結果から、旧型レジを使用し、毎日の会計処理や売上管理を手動で行っている店舗も飲食店以外も含めまだまだ多い現状がうかがえます。こうした業務はPOS レジ導入によるデジタル化で、効率化が進み、店舗や施設は、本来、注力すべき仕事に集中できるようになると考えております。

\*1・2：『ホットペッパーグルメ』外食総研「飲食店経営者のDXに対する興味・関心と導入状況の実態調査（2023年3月調査）」

## 3. プロダクト担当者コメント



林 裕大（はやし ゆうだい）

※取材可能

株式会社リクルート プロダクト統括本部 SaaS プロダクトマネジメント室

Air プロダクトマネジメント ユニット長

『Air レジ』サービス担当者

2006年にリクルートに入社。『ホットペッパーグルメ』の営業を札幌で経験後、プロダクト開発、新規事業の立ち上げとグロースの担当を経て、2020年より現職。

### 『Air レジ』の機能強化で成し遂げたいこと

『Air レジ』は簡単かつ無料で使い始めることができるため、2013年のサービス提供開始以来、飲食店だけではなくレジを使用される幅広い業種、多くの店舗に導入いただいております。しかし小売店では、必要な機能が搭載されていないためPOS レジの利用を断念されることや、固定費が発生するためコスト観点で導入を諦められ、旧型のガチャレジの使用を続けられることもありました。デジタルツールは一度利用を開始すれば、新しい機能を使用するために専門の業者に依頼しソフトウェアのアップデートを実施したり、新たなソフトウェアのインストールをするなど面倒な作業をしたりする必要はなく、アプリのアップデートをかけるだけで、機能が強化されていくところが大きなメリットです。かねてよりたくさんの方々からご要望をいただいていた量り売りをはじめとしたここ最近の一連の機能強化により、小売店などのさまざまな業態を営む皆さまに、より使いやすいレジになったと思っております。店舗にとって必要な業務支援サービスを紐付けることで、オペレーションをより円滑にし、人手不足や物価高騰の影響などに悩む店舗の皆さまへの支援を加速させたいと考えています。

## 4. 『Air レジ』について

『Air レジ』は、0円でカンタンに使えるPOS レジアプリです。ダウンロードしたアプリをiPadまたはiPhone

にインストールするだけで、誰でもいますぐ使い始められます。2013年11月にサービスの提供を開始し、2023年3月末時点でアカウント数は73.5万(※1)。利用店舗数No.1(※2)のPOSレジアプリです。また、利用店舗数は拡大を続けており、飲食、小売、サービスなどの幅広い業種で、10代の高校生から80代の青果店オーナーまで年齢問わずさまざまな方が使いこなしています。

『Air レジ』さえあれば、会計、商品管理、顧客管理から売上分析まで、お店の会計にまつわる業務をこれひとつででき、日々のアナログな業務から劇的に解放されます。導入したお店からは、「1時間以上かかっていたレジ締めが15分になった」「今日入ったばかりのアルバイトでもすぐに使えた」「客単価がおよそ1割アップした」「メニュー開発に時間を使えるようになった」などの声をいただいています。さらに、カード・電子マネー・QR・ポイントも使えるお店の決済サービス『Air ペイ』と一緒に使うと、キャッシュレス決済にも対応でき、より便利に使えます。

『Air レジ』も含むAir ビジネスツールズでは、予約・受付管理、会計、決済から人材採用、シフト管理、資金調達や請求書管理まで、事業運営のアナログな業務にかかる、手間、時間、コストを軽減できます。

私たちは、事業を営む皆さまの「思い描く事業運営や自分らしいお店づくり」をこれからも支援し続けます。

※1：自社調べ（2023年3月末時点）

※2：①調査主体：株式会社リクルート ②調査実施機関：株式会社インテージ③調査実施時期：2022年11月17日（木）～2022年11月21日（月）④対象者条件：全国の飲食業・小売業・サービス業で、勤務先の店舗や施設でPOSレジを導入、または使用している男女18～69歳 ⑤サンプルサイズ：n=1,037

『Air レジ』について <https://airregi.jp/>

直近リリースした代表的な機能は下記

- [部門打ち](#)
- [在庫管理](#)
- [棚卸し](#)
- [独自商品コード](#)
- [バーコード入荷](#)
- [NON-PLU 対応](#)
- [商品画像登録](#)

## Air ビジネスツールズの紹介

Air ビジネスツールズは本年、サービス開始から10周年を迎えました。各サービスのご紹介に加え、10年間の歩みや導入事業者の声、社会課題の解決に役立った事例などを掲載したWebサイトも開設しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://airregi.jp/brand/>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>